

## 研究の概要

### 研究課題 1

#### 様々な教育活動の中での道徳教育

人権教育や性教育などの講演会、規律指導、PTAや地域と連携した活動、授業やホームルーム活動など、それぞれの教育活動が道徳教育を充実させるためにどのように位置づけられるかを明確にし、その内容やねらいを検証しました。

### 研究課題 2

#### キャリア教育と道徳

2年生全員が地元企業等において実施しているインターンシップを軸に、段階的に身につけさせたい道徳的な力を検討しました。

### 研究課題 3

#### 授業「道徳を学ぶ時間」の実践

1年生全員を対象に授業「道徳を学ぶ時間」を行いました。

##### ◆第1回「モラル・マナーを学ぶ」

飲食店・コンビニエンスストアでの事件(SNSへ投稿された冷凍庫の食品上に寝そべる姿の写真等)を例に、グループで経営者、店員、客の立場になって相手の気持ちを考えて、モラルやマナーの大切さについて考えました。



【キャリア教育講演会】

##### ◆第2回「自己を知り、未来の自分の生き方を主体的に考える」

DVD講演『てんつくマンの人生』を視聴し、元お笑い芸人・てんつくマンの人生の中での多くの出会いや出来事から、成功した理由をグループで話し合い、今後の自分の生き方について考えました。



【道徳を学ぶ時間】

##### ◆第3回「よりよい人間関係、他者と自己の理解を考える」

DVD講演『居酒屋っぺん』を視聴し、やる気のない店員・レオナと彼を信じる店長など、仕事をしている大人たちの姿を通じて、様々なものの見方や考えがあることを理解し、人間関係の構築に必要な支え合いについて考えました。



【校内教員研修会】

### 研究課題 4

#### 教員の指導力向上と校内組織体制の研究

校内職員研修及びすべての県立高等学校の1学年で「道徳」の授業を実施している茨城県への視察を行いました。

## 生徒の変容

### 1年生へ実施したアンケート結果より

Q.「道徳を学ぶ時間」の授業を受けて、自分の「生き方」や「考え方」に変化はありましたか。

あった	あまりない	ほとんどない
67%	23%	10%

#### 「あった」の主な理由

- ・何ごとにも挑戦しようという気持ちになった。
- ・仲間は本当に大切だと感じた。
- ・うまくいかなくても頑張ろうと思った。
- ・人の気持ちを考えて話すようになった。
- ・社会とどう向き合うべきか学べた。
- ・前より少し深く考えるようになった。



約3分の2の生徒たちは「道徳を学ぶ時間」によって自分の変化を感じています。来年度2年生でのインターンシップや様々な教育活動を通じて、さらに他者を理解し、支え合い、社会に生きる一員として将来を見つめていく力をつけさせていきたいと考えています。



## ここがポイント!

### 高等学校における道徳教育の実践上のポイント

#### キャリア教育と結びつけた道徳

本校のインターンシップは、高校生活でも特に人間としての在り方生き方を考えさせる重要な機会となっています。キャリア教育と道徳を関連づけながらの指導は効果的であると考えられます。



#### 授業「道徳を学ぶ時間」の可能性

様々な講演会后に、その内容についてさらに深く考えたり、仲間と意見を交換したり、自分のことを振り返ったりする活動は、高校での「道徳を学ぶ時間」として重要な内容になると考えます。



## <高等学校における道徳教育をめぐる疑問にお答えします>

### Q1

高等学校における道徳教育として、どのような教育が求められているのでしょうか?

### A

高等学校の段階は、自分の人生をどう生きればよいかについて思い悩み、他者との関係に関心を持ち、人間や社会の在るべき姿について考えを深める時期です。それらを模索する中で、自己を確立し、自らの人生観や価値観を形成し、主体性をもって生きたいという意欲を高めていきます。このような生徒の発達段階を考慮し、人間としての在り方生き方に関する教育を推進することが求められています。

### Q2

人間としての在り方生き方に関する教育を進める際に留意すべきことは何でしょうか?

### A

よりよい生き方を選ぶ上で必要な、自分自身に固有な判断基準は、様々な体験や思索の機会をとおして自らの考えを深めることにより形成されます。したがって、人間としての在り方生き方に関する教育においては教師の一方的な押し付けや単なる先哲の思想の紹介にとどまることのないように留意し、人間としての在り方生き方について生徒が自ら考え、自覚を深めて自己実現に資するように指導の計画や方法を工夫することが重要です。